

令和5年度 稲美町行財政改革推進委員会議事録

- 1 日 時 令和5年12月25日(月) 16時00分～17時40分
- 2 場 所 稲美町役場 本館 302 会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 田端委員、大西委員、桃宇委員、田中委員、佐藤委員、大村委員、井上委員、植田委員、増本委員、藤原委員
 - (2) 事務局 井上経営政策部長、岡野企画課長、辻本政策・デジタル推進係長、明神主査

4 会議の概要

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員長・副委員長の選出について
4. 協議事項
 - (1) 行財政改革の実施状況について
5. その他
6. 閉会

5 議事録

【1.開会】

【2.あいさつ】

〔経営政策部長〕

コロナウィルスも5類に移行し、今年度の町の事業は、いろんな形で元に戻りつつある。

引き続き、子育て支援、福祉の充実、土地利用の推進など、まちの活力を取り戻していくためにも事業を推進させていただいている。

町の財政状況は、基金が約68億円。これは、県下12町でも多い方から4番目。財政状況の各指標を見ても、他の市町に比べ良好な数値で推移している。

今後の見通しとしては、歳出では、高齢化の進展に伴い社会保障費の増、水道施設や道路など公共インフラの更新で大変な費用が必要になってくる。

歳入では、人口減少・働く世代の減少による個人住民税の減少、固定資産税の下落傾向はやや止まりつつあるが、以前ほどの安定財源となっていない。

基金をどのように活用し、持続可能なまちを作っていくということが、我々に与えられた使命。

最近では歳出を絞って行革ということではなく、持続可能なまちを作っていくために、住民の皆さんとどう協働していくか、まちをどのようにしていくかが重要。

3. 委員長・副委員長の選出について

委員長に田端委員、副委員長に桃宇委員を選出

〔委員長あいさつ〕

持続可能な財政の必要性については、あらためて申し上げるまでもない。

行政という分野では、どういう行政が求められるのか、非常に大きな課題。新型コロナにより政府の役割が非常に大きく出てきた。エッセンシャルワーカーなど社会には必要だが現実には厳しい状況に置かれているなど、いろんな矛盾が見えてきた。今まで内在していた課題、見過ごされて・見て見ぬふりをしてきたものをつまびらかにしないと、正しいものが分からなくなる。

行政は公平・公正、さらに正義が求められる。誰が見てもおかしくないような行政を作っていかなければならない。そこに住民との協働が必要。

4. 協議事項

(1) 稲美町の財政状況の説明

(2) 行財政改革の実施状況について

〔事務局〕 稲美町の財政状況・行財政改革の実施状況の説明

〔委員〕 企業転出に対する町の対応は。

〔事務局〕 企業立地促進補助金として、新たに町内に事業所等の設置または既存の事業所を拡張する事業で、設備投資が1億円以上のものに補助を行っている。

〔委員〕 資料3の昨年度との比較において、効果額が増えている理由は、ふるさと納税で増えたということか。

〔事務局〕 委員お見込みのとおり、ふるさと納税の増によるもの。

〔委員〕 保育所の R5.11 月末現在の待機児童数は。

〔事務局〕 10 人。

〔委員〕 事前相談等で断られて申請されず、数にあがってこないものもあるのではないか。誰でも通園制度が始まる、こういった状況でどうなるのか。

〔事務局〕 保育の担当部門でこういった現状を踏まえながら、来年度以降もいろいろ計画をしている。本日のご意見も担当課につなげていく。

〔委員〕 幼稚園の預かり時間の延長や給食は。

〔事務局〕 預かり時間については、R5 年度から 30 分延長している。給食については、現在のところ具体的な検討はしていない。

〔委員〕 職員数が少なく、仕事に手が回らないと聞くことがある。

〔事務局〕 定員管理計画に基づき、計画的な職員採用を行っている。業務量による人員不足には、会計年度任用職員で対応することを基本とするが、恒常的に確保する必要がある場合は、採用計画を見直すなど人員の確保に努めている。

〔委員〕 早期退職の推進とはどういうことか。

〔事務局〕 平成 27 年に定めた方針ではそういったことによる組織の活性化ということがあったが、時代環境や業務量も変わってきている。今後はこのあたり見直されてもいいかもしれない。

〔委員〕 タクシーが不足している。何かいい方法はないか。

〔事務局〕 日本全体の動きとしてドライバー不足になっている。町内の状況でいうと、関係する事業者が 1 つなくなった。対策については、町単独というよりは県全体で考えていかなければならない。できるだけ住民の足を確保していきたい。

〔委員〕 防災行政無線について、来年 JA の有線放送がなくなる。そのあたり情報

の伝達は。

〔事務局〕 町公式 LINE を開設し、災害時の情報も LINE を通じて流せる予定。

〔委員〕 町ぐるみ健診、今年から方法が変わった。受診率上げるにはもう少し、そのあたりの周知もいるのでは。

〔事務局〕 今年度、かたちを変えさせていただいている。そのあたり、周知等検討していく必要がある。

〔委員〕 消防団の補助金の問題は。

〔事務局〕 ご心配をお掛けしている。今までできていなかったところがあり、今年度から消防団の方にしっかりと報告するように是正した。

〔委員〕 放課後児童クラブについて、ニーズのある時間帯と提供時間帯がずれているように感じる。また、タクシーについても、いきいき広場の送迎や医療機関受診と時間帯が一緒になってしまう。

〔事務局〕 放課後児童クラブについては、以前より 30 分延長している。タクシーについては、以前から月曜日の午前中とか込み合う時間はあるよう。また、ドライバーの休暇の関係でつかまりにくい時もあると事業者から聞いている。今回のお声を事業者にも伝えていく。

〔委員〕 大池まつりはできるのではないか。

〔委員〕 交通規制や警備、安全性が一番の部分。以前も、警察との協議の中でもかなり厳しいご意見をいただきながら 1 つ 1 つクリアしていく必要があった。

5. その他

〔事務局〕 さまざまな課題についてご協議いただき、ありがとうございました。この後の予定については、本日いただいた意見を元に手直しを行い、その後町ホームページで公開を行う。

また、会議の議事録の要旨を作成するので、了承願いたい。

6. 閉会

〔副委員長〕 本日はお忙しい中、また熱心に議論いただきありがとうございました。
本日の議論の内容を町行政に活用いただきますようお願いしたい。